

頭部外傷後の注意（子ども用）

医師の診察や検査の結果、今の時点では頭の中に重大な障害はないようですので自宅で経過観察とさせていただきます。

しかし、頭部外傷ではしばらく時間がたってから状態が悪くなることがありますので、自宅でよく様子を見て、お子様に次のような症状がでたときや、具合が悪いと思ったときには速やかに当院救急外来(0479-63-8111)に連絡して受診してください。

特に具合が悪そうなおときには救急車で受診してください。

- ① 意識が悪いとき
- ② 2回以上吐いてしまうとき
- ③ あやしても泣き止まないとき
- ④ （乳児の場合）大泉門が固く張っているとき
- ⑤ 頭痛がひどくなったり、鎮痛剤でも頭痛が収まらないとき
- ⑥ 顔色が悪いとき
- ⑦ 起こしても目を覚ましにくいとき
- ⑧ 歩き方がおかしいとき、または普段は立てるのに立てないとき
- ⑨ けいれんしたとき
- ⑩ 鼻や耳から血液がでてきたとき
- ⑪ 水分や食べ物を全く摂取できないとき
- ⑫ その他、保護者からみて元気がなかったり、いつもと様子がおかしいとき



最初に診察した当直医が頭部 CT 検査をしなかった場合でも、専門医の判断で CT 検査を行ったり、場合によっては入院して様子をみさせていただくことがあります。

医師から指示がない限りは、特に変化がなかった時でも、翌日または直近の平日に脳神経外科（2歳以下では小児科も）受診してください。

国保旭中央病院

電話 0479-63-8111

急性期の運動・遊び制限について

頭部打撲による症状は、時間とともに改善すると考えられますが、完全に症状がなくなるまでの間、身体・認知面の両方で脳に十分な休息を与える必要があります。完全に症状がなくなるまでは、次の点に気をつけて、脳に負担がかからないように注意してください。

- 保育園、幼稚園、学校に頭部打撲で受診したことを知らせましょう
- 十分な睡眠がとれるように生活リズムを整えましょう
- 自転車、三輪車などの乗り物を避けるようにしましょう
- ボール遊びを避けましょう
- その他、頭をぶつけやすい運動や遊びは避けるようにしましょう

頭部打撲を繰り返さないために、次のようなことに気をつけて元の生活に戻るようにしましょう。

- 遊ぶときには大人が付きそいましょう
- ベッドやソファに子どもを乗せたまま離れないようにしましょう
- ベビーベッドの柵はこまめに上げましょう
- 椅子、ベビーカー、ベビーシートでは忘れずにベルトを装着しましょう
- 窓や棚などの高いところに一人で登れないようにしましょう
- 階段に一人でいけないようにしましょう
- その他、もう一度自宅を見て、子どもに危険なものがあればできる限り改善するようにしましょう

国保旭中央病院小児科

